

募集要項

《募集人数》 25名（横浜市内にて乳がん診療に携わっている看護師の方）
※受講にあたっては原則、すべてのプログラムへの参加が必要です。また医療局の行うアンケートへの回答が必須です。

《参加費》 無料

《申込締切》 2024年6月28日（金）

《申込方法》 申込専用ページにアクセスしてお申し込みください。

※応募者が募集人数を超えた場合、これらの記入事項を参考に受講者の選考を行いますので、記入漏れのないようご注意ください。



二次元バーコードを読み取り、申請フォームから入力してください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/c9dd0b55-8377-480d-88a5-a5e8bb0fcc52/start>

《受講可否》 応募者全員にEメールで連絡します（7月中旬予定）。
お申し込みの際にご記入いただいたアドレス宛にお送りしますので、携帯電話メールの場合は受信設定（ドメイン設定の変更）をお願いいたします。

《認定》 すべてのプログラムを修了された方には、横浜市医療局から認定証とバッジを授与します。

ケーススタディについて

形式：集合研修

日時：2024年10月27日（日）

場所：横浜市庁舎 18階

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10

最寄駅からの所要時間

- ・みなとみらい線 馬車道駅 直結
- ・JR 桜木町駅 徒歩3分
- ・横浜市営地下鉄 桜木町駅 徒歩3分



令和6年度 Patient Navigator 養成講座

【主催】

横浜市乳がん連携病院

横浜市立大学附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立みなと赤十字病院
横浜労災病院
横浜市立市民病院
けいゆう病院
済生会横浜市南部病院
昭和大学横浜市北部病院

横浜市医療局

【問合せ】

Patient Navigator 事務局（横浜市医療局）

電話：045-671-2721

Eメール：ir-shinsei@city.yokohama.lg.jp

はじめに

乳がんは女性のがんで一番多く、日本人女性の9人に1人がり患しています。女性、若年発症、さまざまなタイプ、遺伝の関連などの多くの特徴があり、整容性、妊孕性、遺伝性、就労、不安や意思決定など、様々な支援が必要となります。また、根治が望めない乳がんでは、患者の皆様に寄り添い、その人らしい生き方を支援する医療者の存在が不可欠となっています。

目的

患者の皆様に寄り添い、自ら、または、他職種との連携をして必要な支援を提供できる人材を育成し、横浜市における乳がん診療の質を向上させることを目的とします。なお、育成にあたっては高度な専門技術ではなく、すぐに役立つ実践的スキルを身に着けることを主眼におくこととしています。

Patient Navigator とは

社会的役割の多い世代に発症する乳がんでは、最善の治療を行う上で、多くのサポートを必要とします。Patient Navigatorとは、患者の皆様に寄り添い、意思決定の支援をしたり、様々なサポートの提供につなげる人材のことを言います。

日本には、乳がん認定看護師認定制度という制度がありますが、本講習では、日常診療で、明日から役に立つ実践的内容のみにフォーカスし、横浜市において、より多くの看護師さんが、日常的に乳がん患者の皆様をサポートする一助になるようプログラムを作成しています。

プログラム

ビデオ講義と集合研修形式でのケーススタディを行います。

ビデオ講義は臨床の流れに即してテーマ設定された講義を用意しています。

ケーススタディと発表・質疑応答により、講義で学んだ内容を深めていただく構成としています。

プログラム予定

(以下、講義・ケーススタディの予定です。今後変更となる可能性があります。)

ビデオ講義①：配信期間 2024年8月19日(月)～2024年9月20日(金)

※配信期間中ご都合のよい時間に視聴してください。(計約310分)

プログラム内容(各講義小テスト受講必須)	講師(敬称略)
Patient Navigator 育成プログラムについて	清水 大輔(横浜市立みなと赤十字病院乳腺外科部長)
乳がん検診	俵矢 香苗(横浜栄共済病院乳腺甲状腺外科部長)
乳がんの診断	嶋田 和博(横浜市立市民病院乳腺外科長)
乳がんの局所治療	山本 晋也(横浜労災病院乳腺外科部長)
乳がんの全身治療	山田 顕光(横浜市立大学附属病院乳腺外科)
乳がん治療における看護師の役割	大花 裕美(横浜労災病院看護部がん看護専門看護師)
外来における情報収集と意思決定支援	蜂巢 志乃(横浜市立大学附属病院看護部乳がん看護認定看護師)
手術療法における術前術後ケア	古田 奈穂(横浜市立みなと赤十字病院看護部乳がん看護認定看護師)
薬物療法におけるケア	和田 伸子(横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部がん化学療法看護認定看護師)
放射線療法におけるケア	吉田 信子(横浜市立みなと赤十字病院看護部がん放射線療法看護認定看護師)
アピアランスケア	小澤 真由美(けいゆう病院看護部乳がん看護認定看護師)

ビデオ講義②：配信期間 2024年9月21日(土)～2024年10月20日(日)

※配信期間中ご都合のよい時間に視聴してください。(計約260分)

プログラム内容(各講義小テスト受講必須)	講師(敬称略)
カウンセリングスキルと心理サポート	塚野 佳世子(横浜労災病院心療内科心理判定員)
子どもへの伝え方	井上 絵未(済生会横浜市東部病院小児科チャイルド・ライフ・スペシャリスト)
妊孕性温存療法	村瀬 真理子(横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター担当部長)
遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)	吉田 達也(済生会横浜市南部病院乳腺外科部長)
医療保険制度と就労支援、介護保険	亀山 友美(横浜市立みなと赤十字病院がん相談支援センター社会福祉士)
横浜市の政策	横浜市医療局がん・疾病対策課
再発進行乳がん総論	清水 大輔(横浜市立みなと赤十字病院乳腺外科部長)
疼痛緩和治療(薬物療法・放射線治療)	馬渡 弘典(横浜南共済病院緩和支援療法科部長)
乳がんにおける終末期ケア	岩崎 有紀(横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部がん性疼痛看護認定看護師)

ケーススタディ：2024年10月27日(日)9:00～16:00(横浜市庁舎での集合形式)

乳がん患者さんへの介入をテーマに、2題程度のケーススタディを想定しています。ケーススタディとグループ発表により理解を深めます。